

技術提案評価基準

評価項目	評価の着目点	評価対象書類	評価の判断基準	配点
事業者の実績	業務実績	様式第3号	国内の一般廃棄物処理施設に係るDBO方式またはPFI方式による事業者選定に係るアドバイザー業務を過去10年(平成26年度から令和5年度)以内に元請として完了した実績を有する場合に評価	9
配置予定主任技術者(廃棄物分野)の実績及び能力	技術士資格	様式第6号	技術者の取得資格(技術士:衛生工学部門一廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画または総合技術監理部門一衛生工学一廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画)を有する場合に評価	2
	業務実績		国内の一般廃棄物処理施設に係るDBO方式またはPFI方式による事業者選定に係るアドバイザー業務を過去10年(平成26年度から令和5年度)以内に主任技術者として完了した実績を有する場合に評価	6
配置予定担当技術者(廃棄物分野1名)の実績及び能力	技術士資格	様式第7号	技術者の取得資格(技術士:衛生工学部門一廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画または総合技術監理部門一衛生工学一廃棄物・資源循環、廃棄物管理、廃棄物処理、廃棄物管理計画)を有する場合に評価	2
	業務実績		国内の一般廃棄物処理施設に係るDBO方式またはPFI方式による事業者選定に係るアドバイザー業務を過去10年(平成26年度から令和5年度)以内に技術者として完了した実績を有する場合に評価	6
業務実施体制	業務実施体制の妥当性、充実度	様式第5号	実施体制の特徴、工夫点、充実度 ※主任技術者を筆頭に各分野(技術、財務、法務、PPP業務に実績がある弁護士等)の専門職等の体制、本業務の背景・目的を理解して事業の実現性を考慮した体制か、などを評価。	10
技術提案書	特定テーマ1 業務実施 手法・工程	様式第9・10号	業務内容の理解度 ※業務を実施する上でのポイント(着眼点)、その理由(背景や目的)、具体的対応や方針が明確である場合に、優位に評価。	10
			業務実施工程の妥当性 ※業務実施工程に無理がなく、円滑に進めるための工夫がある場合や、選定委員会時期及び議題を記載し、開催時期の妥当性が高い場合に優位に評価。また選定委員会に向けた委員との事前打合せや、本市との打合せについても、時期や目的が明確である場合に優位に評価。	10
			業務実施手法の妥当性 ※業務実績を通じた工程上の課題や対応策が示されている場合、業務を円滑に進めるための工夫がある場合等に優位に評価	10
	特定テーマ2 予定価格設定 に関する課題・ 対応策等	様式第11号	提案内容の具体性 ※予定価格(建設費及び維持管理費)設定根拠の明確化、予定価格の高止まり対応、入札不調回避対応策を考慮した適正な予定価格の設定方法・手順などを評価。着眼点・問題点等が記載され、具体的な提案(解決方法等)を示している場合は優位に評価。	10
			提案内容の実現性 ※予定価格(建設費及び維持管理費)設定根拠の明確化、予定価格の高止まり対応、入札不調回避対応策を考慮した適正な予定価格の設定方法・手順などを評価。提案内容の実現性が高く、説得力がある場合は優位に評価。	10
ヒアリング	説明内容的確性	—	業務理解度・実施手法・体制の妥当性及び技術提案の的確性が十分に説明されている場合は優位に評価	5
	取り組み意欲	—	説明のわかりやすさ、取り組み意欲が強く感じられる場合は優位に評価	5
	応答の的確性	—	質問に対する応答が的確、かつ迅速な場合は優位に評価	5
合計				100